



広報

なんこく



みやうつておもしろいものかな

土佐国衙跡と紀貫之邸跡

国府は律令時代におけるその国の政治・文化の中心地である。土佐国府は比江にあった。ただここに開府された時期はさだかではない。しかし、国府に関係のある内裏(たいり)・府中・内日吉・国斤などのホノギ(ほのぎ)が残り、ここが国府であったことをはっきりと物語っている。国府城は方6町とか方4町ともいわれる豊富な資料の残る土佐の国府であるが、成立や廃絶の時期など究明しなければならぬ課題も多い。

国府城の北端中央部の内裏に紀貫之邸跡とされているところがある。歌人、紀貫之が国司として来任(930年)し、4年の任を終えて都へ帰りつくまでの船旅の日記「土佐日記」は、貴重な文献となっている。

『南国の歴史を歩く』から(南国市教育委員会発行)



- | | | |
|----------------|-------|-----|
| 平成11年度一般会計予算 | | ②~③ |
| スポーツセンター・人事異動 | | ④~⑥ |
| 人権・障害者計画策定など | | ⑥~⑦ |
| ダイオキシン・ポイ捨て条例 | | ⑧~⑨ |
| みんなの広場・カメラリポート | | ⑩~⑪ |
| お知らせ | | ⑫~⑬ |